令和3年度第4回補助金等審議会記録		記録者	財政課	場所	神栖市役所本庁舎4階 第二委員会室
実施日	令和3年11月4日(木)		時間 午後1時40分から午後3時20分		
概要・質疑等					
課等名					
団体名	質疑番号	内容		回答または措置	
文化スポーツ課 13:51~14:15					
神栖市子ども会育成連合会	1	会員数について、令和2年度実績と令和4年度見込を比較すると約600人減少していますが、本当にこれほど減っているのでしょうか。		資料に記載のとおり、減少していく見込みとなっています。	
	2	(意見) 子どもの成長に関しては、家庭・地域の協力が重要です。子ども会の加入は任意ではありますが、神栖市教育委員会として、課の垣根を越えた応援体制をとっていただくことを期待しています。			
	3	役員が回ってくる6年生になると脱会するケースがあると聞いたことがあります。共働き夫婦が増え、親の負担が大きくなっていることは理解できますが、子ども会の活動とおして、自然に親としても成長できると思いますので、親の理解が得られるよう、何か手立ては必要ではないでしょうか。		保護者も忙しいなか大変な思いをなさっていますが、子ども会活動を通して、交友関係が広がったり、子ども達の喜ぶ顔が見られたり、喜びを感じることも多々あると思います。保護者が、事業をやらされているのではなく、自らやりたいと思ってもらえるような、現状にあった事業を模索しているところです。	
	4	小学生・中学生ともに加入率が低い状況ですが、この状況を改善するために、今後どのような対応が必要だと考えていますか。			
	5	企画に関しては、親が主体ではなく、子ども達が自分でやりたいことを考えさせてみてはどうでしょうか。		最近の子どもは、自分で考えて行動することが苦手な子が多い印象があります。そのような子ども達が集まったとしても、意見が出ず、何も変化が起こらないため、神栖市子ども会育成連合会としては、単位子ども会の活動指針(活動モデル)を例示することを今年度取り組んでいます。	
	6	活動が活発な単位子ども会は、地域を巻き込んで事業を行っているため、加入率が高いと思います。今後、加入率を高くするために、単位子ども会の活動にあたっては、地区と協働で事業を実施することを提言してみたいかがありますか。		地区で行われるお祭りなどに単位子ども会が参加するケースもありますが、今後必要なのは、子どもが単に遊びに行くだけのイベントではなく、子ども達が自ら参加し、一緒に作るような事業を地区と協力して実施することだと考えています。	
	7	(意見) 地域の大人と一緒に体験できる事業が実施できると良いと思います。			
	8	(意見) 年間を通じて地域で育てていくために、単位子ども会の活動の見本を示すことができれば大変役立つと思います。			

神栖市PTA連絡協議会	1	女性ネットワーク委員会と父親委員会の活動内容について教えてください。	父親委員会は、他の学校の父親委員との情報共有が主な活動内容となっています。学校や地区によって活動に特色があるため、交流することによってお互いが参考になる良い機会となっています。今年度はコロナ禍により集まることが出来なかったため、年度当初に各学校から選出された委員同士でグループラインを作り、適宜情報共有を図りながら、年度末に1年間の活動結果を共有しようと考えています。 女性ネットワーク委員会の委員は子育て世代の母親であるため、子育てで参考になる研修会等を実施しています。
	2	子どもの成長に関しては、課を超えて教育委員会として関与していただきたいと思います。	現在、神栖市子ども会育成連合会は文化スポーツ課、神栖市PTA連絡協議会は教育指導課が担当課となっていますが、両課で連携をとりながら、教育委員会として取り組んでいきたいと考えています。
	3	教育委員会には退職された校長先生が再任用として勤務されているため、このような長年教員を経験されたベテランの方に携わっていただきながら、市で事務局を運営することはできないでしょうか。	文化スポーツ課には、退職された校長先生が、社会教育相談員として3名勤務されていますが、各PTAの家庭教育学級の講師など、学校を後方から支援していただいています。また、事務局の運営には、各小中学校間の連絡及び学校・家庭・地域の連携が必要であることから、事務局を現場である学校に設置することが望ましいと考えています。また、不祥事防止等の観点からも、事務局は各団体で運営していただく方針であり、引き続き自立に向けた支援を行っていききたいと考えております。
	4	資料の「令和2年度神栖市PTA連絡協議会決算書」の中で幹事手当の内容について教えてください。	休日に各学校の教頭が事業に参加した場合に支給する日当になります。
	5	(意見) 親と先生が子どもを育てるというPTAの原点にかえり、市PTA連合会から単位PTAに支援するような活動が必要だと思います。	
	6	(意見) 現在、会長の任期は1年ですが、1年では改革は進みませんので、複数年としてもよいのではないかと思います。	

神栖市婦人防火クラブ	1	(意見) 新規会員の獲得が難しい状況であるため、男性も会員の対象にした方が良いと思います。 また、婦人防火クラブの活動を知ってもらうために、学校を通してPRすることも検討してほしいと思います。	名称については検討中となっており、男性についても募集しようと考えています。 また、全国的には、団体名称を「婦人」から「女性」に変更する団体が増えている状況です。
	2	市民認知度を上げるため、例えば、市の広報紙で取り上げるなど、婦人防火クラブの普及活動を行っていただきたいと思います。また、団体名称について、時代に即した名称となるよう検討していただきたいと思います。	
	3	自立に向けた具体的取組方針の中で「日当の支給対象や金額の見直しについて役員会にて協議する。」と記載されていますが、見直し時期は令和4年度からでよろしいでしょうか。	活動日当について、今までの500円から300円に下げよう、11月20日に役員を集めて協議・検討し、承認されれば令和4年度から見直す予定です。
	4	(意見) 現代においては、仕事をされている女性が多いと思いますので、若い人たちにも参加できるようにするには、防火クラブの事業活動が職務専念義務免除になるよう、企業等に対して働きかけることができれば良いと思いました。	
	5	(意見) 昭和の初めから防火クラブとして活動していますが、防火活動よりも防災関連の活動に移行した方が若い人たちが加入しやすいと感じました。	
	6	市から補助金が出ていますが、会費を徴収する必要はあるのでしょうか。	活動資金を全て補助金に頼るのではなく、会費で賄えない部分を市から補助金をいただいて事業を行っています。 また、自立に向けた取り組みとして、活動手当を500円から300円に下げよう、今後協議・検討する予定です。

神栖市青色申告会	1	見直し基準チェックシート(令和2年度末時点)の中で、審議会からの意見や指摘事項に対する取り組みについて、「改善した」と記載されていますが、具体的な内容を教えてください。	講習会等の事業について、経費の削減を行いました。経費の削減内容については、事前質問で回答したとおりです。
	2	総会の決議により、規約にある「満75歳を過ぎて役員にならない」を削除し、75歳以上でも役員になれるようになりました。今後役員の高齢化が進み、世代交代が進まなくなることが懸念されますが、ご意見をお聞かせください。	定年制撤廃については、内部でも慎重に審議して規約を変更しています。当団体は、現役で働いている方は65歳以上の方が多く、団体自体が高齢になっています。その中で役員を選ぶとなった場合、自然と高齢の役員になります。会員の中には若い方もいますが、それを拒んでいるわけではなく、若い方をお願いしてもなかなか受けていただけない状況です。また、国の雇用関係についても、能力さえあれば80歳まで働くなど、逆に我々は時代の流れに即している規約であると考えています。
	3	令和2年度収支決算書のうち、支出の総会費の決算額が0になっていますが、なぜでしょうか。	新型コロナウイルスの関係で総会は書面決議となったため、総会費としての決算額は0になっています。